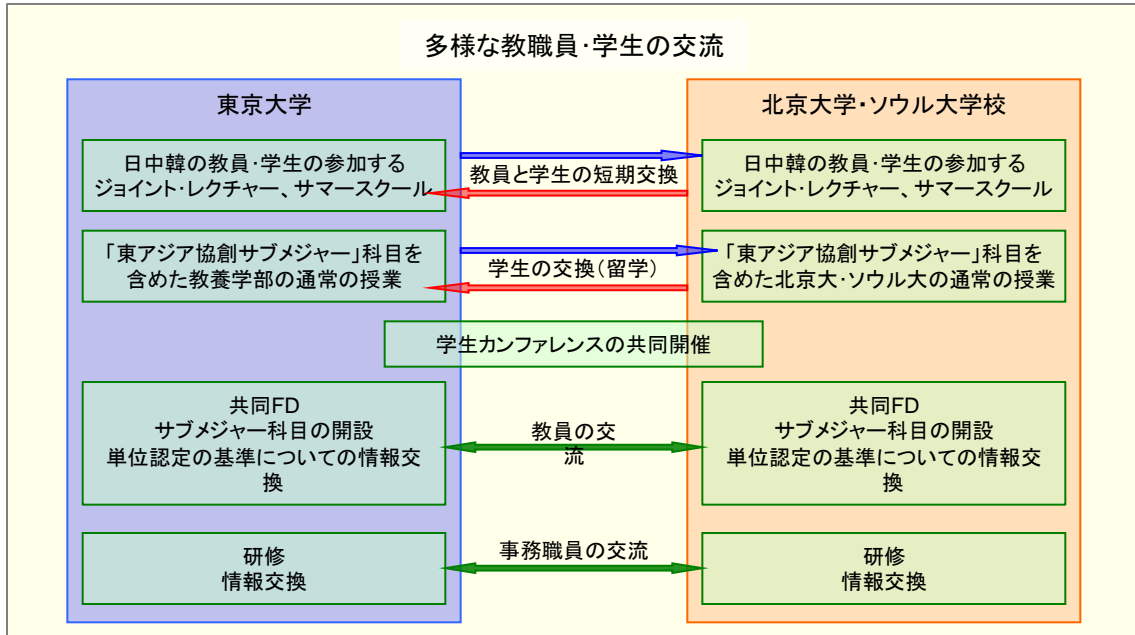


大学の世界展開力強化事業(平成28年度採択) 東京大学 取組概要

【事業の名称】(選定年度28年度・(タイプA-②)CAMPUS Asia)

日中韓教養教育アライアンスによる高度教養教育の充実と「協創型人材」の育成

【事業の概要】



【交流プログラムの概要】

1. 東アジアの3大学における教養教育の質を保証
2. 東アジアという地域に立脚した「協創型人材」の育成

【本事業で養成する人材像】

1. 東アジアの歴史と現状を踏まえて、自分の専門分野を基礎として他者と協働して問題解決に当たる研究者ないし高度職業人
2. 東アジアの各地域を自分の専門分野としつつ、他の様々な研究者・専門家と対話し、グローバルな課題に学際的に取り組むことのできる研究者

【本事業の特徴】

「ジョイント・レクチャー」「サマースクール」「東アジア学生カンファレンス」を核とし、3大学で開講されている講義・演習を組み合わせた「アジア協創サブメジャー」(英語名: Asian regional experts sub-major)の形成

【交流予定人数】

<タイプA-②>

| | H28 | H29 | H30 | H31 | H32 |
|-----------|-----|------|------|------|------|
| 日本(J)での受入 | C 6 | C 4 | C 12 | C 4 | C 12 |
| | K 6 | K 4 | K 12 | K 4 | K 12 |
| 中国(C)での受入 | J 0 | J 10 | J 4 | J 10 | J 4 |
| | K 0 | K 10 | K 4 | K 10 | K 4 |
| 韓国(K)での受入 | J 0 | J 4 | J 10 | J 12 | J 10 |
| | C 0 | C 4 | C 10 | C 12 | C 10 |

1. 取組内容の進捗状況(平成28年度)

【事業の名称】(選定年度28年度・(タイプA-② CAMPUS Asia)

日中韓教養教育アライアンスによる高度教養教育の充実と「協創型人材」の育成

■ 交流プログラムの実施状況

1. ウィンタープログラム(ソウル大学校) 2月1日-15日
2. ウィンタープログラム(東京大学) 2月16日-23日



〈ウィンタープログラム(ソウル大学校)でのField Trip〉

交流プログラムにおける学生のモビリティ

○ 日本人学生の派遣

ウィンタープログラム(ソウル大学校)への派遣(2月1日-15日)

北京大学(14人)・ソウル大学校(13人)の学生とともに、韓国語研修・特別講義・グループワーク・Field Tripに参加

○ 外国人留学生の受入

ウィンタープログラム(東京大学)へのソウル大学校学生の受入(2月16日-23日)

東京大学の学生(11人)とともに特別講義・グループワーク・フィールドワークに参加

〈タイプA-②〉

| | |
|-----------|-------------|
| | H28 |
| 日本(J)での受入 | C 0 K 13 |
| 中国(C)での受入 | J 0 K 0 |
| 韓国(K)での受入 | J 9 C 14 |



〈ウィンタープログラム(東京大学)でのグループワーク〉

■ 質の保証を伴った大学間交流の枠組形成に向けた取組

1. 特任教員の採用による中国語・韓国語教育体制の拡充
2. 教職員の相互派遣による交流の増進と教育情報の共有

■ 外国人学生の受入及び日本人学生の派遣のための環境整備

1. 日本語・英語のみならず、中国語・韓国語での対応を含めた学生支援体制の整備
2. 事務部職員の現地研修の実施

■ 事業の実施に伴う大学の国際化の状況

情報の公開、成果の普及

1. 3大学ジョイント・レクチャー実施のための遠隔講義用機材の整備
2. 事業の理念や成果を発信するためのホームページの構築

■ グッドプラクティス等

1. 学生交流プログラムの本格的運用のための3大学覚書の締結
2. 共同サブメジャーの核となる授業の設置に関する協議が進行中
3. 平成29年8月に学生が北京・ソウル・東京を回るサマープログラムを実施することに合意